月刊 かわごえ環境ネット

2020年2月号 No.160 https://kawagoekankyo.net

2020 年 2 月 3 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

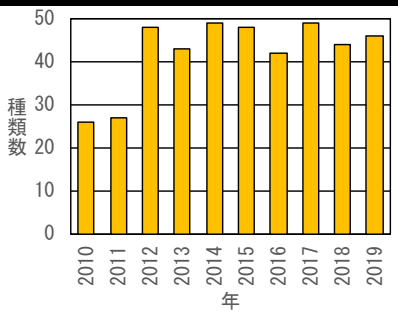
「第 18 回かわごえ環境フォーラム」2 月 29 日（土）ウェスタ川越で開催

いずれの行事も参加無料。9:30-12:00①みんなの環境活動報告会、13:00-14:25②講演会「動きながら考え、考えながら調整する～ぼくらのエリアリノベーション～」(荒木牧人氏)、14:40-16:30 ③マップづくりワークショップ「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう 2」(詳細 8-10 面)

目次

コラム　川越の自然をたずねて（82）皆でつむいだチョウの観察 2
　　川越の「宝」をたずねて（8）川越の文化が宿る「川越スカラ座」 2-3
報告　かわごえ環境ネットの活動（2 題） 4-5
　　会員の活動（2 題） 6-7
　　理事会・専門委員会（3 題） 7-8
予告　かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事（3 題） 8-10
　　会員・関係団体の主催・関連行事（6 題） 11-13
　　広報委員会からのおしらせ（4 題） 13
　　イベントカレンダー（2 月 3 日～4 月 1 日） 14

【コラム】川越の自然をたずねて（82）皆でつむいだチョウの観察



チョウの種類の合計数

アサマイチモンジ

川越市内で見られるチョウ

種名	地点数	頭数
モンシロチョウ	102	363
ナミアゲハ	70	138
ヤマトシジミ	58	220
モンキチョウ	43	107
キタキチョウ	34	83
アカボシゴマダラ	32	77
ツマグロヒョウモン	25	63
ツバメシジミ	22	52
コミスジ	22	34
テングチョウ	21	36

市民参加での調査のモデルケースとしてチョウの観察を行ってきました。2019 年は 10 年目を迎えて、5 名のモニターで 1,000 件を超える観察結果が集まりました。2019 年のテーマはチョウの発生時期を特定することと、市内での分布がどうなっているのかを確定することでした。チョウを観察したメッシュは 53（市内の主なメッシュは約 100）になりました。観察されたチョウの種類数は 46 種類で、限られた人員と期間の中での限界まで達したと考えています。

今回の特徴は、①2 月からモンシロチョウが見られた（羽化が早くなっているのか）、②ウラナミアカシジミとミズイロオナガシジミの新たな生息地が見つかった、③ミヤマセセリが 2 年続けて観察され継続的な発生が確認された、④絶滅危惧種のヒオドシチョウとアサマイチモンジが複数の地点で観察された（宮澤氏からの写真提供）ことです。気候変動で北上しているツマグロヒョウモンなどチョウも定着し、5 月から 10 月まで広く見られるようになりました。

川越市内の多くの地点で見ることのできるチョウのベストテンは、1 位がモンシロチョウ、2 位がヤマトシジミ、3 位がナミアゲハで、これらのチョウはこれまでも上位を占め、市内ではポピュラーなチョウとして存在しています。2019 年は広域的な調査も実施したので、水田地帯の比較的暗い神社などで広くサトキマダラヒカゲを見つけることができました。モンシロチョウは田んぼでは少ないチョウですが、田の畔で少なからず見つけることができます。モンキチョウとキタキチョウは、食草や生息環境をすみ分けています。

10 月にもっとチョウの生態の勉強と観察者のスキルアップを兼ねて（仮称）川越市森林公園計画地で現地観察会を行いました。最近珍しいスジグロシロチョウとアサマイチモンジを見つけました。夏から秋に多かったサトキマダラヒカゲが姿を消し、ヒカゲチョウに替わっていました。

これで 10 年間続いた調査は完了して、次回は新たなシステムを構築して川越の自然の観察につなげていくことを期待します。課題としては、より広範な観察・調査、専門家の育成、これまでのビッグデータをもとにした保全方法の検討、専門機関との連携です。

（自然環境部会　過昌司）

【コラム】川越の「宝」をたずねて（8）川越の文化が宿る「川越スカラ座」

コラム“川越の「宝」を訪ねて”は、かわごえカフェ 2019 のテーマ、「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう」で参加者の皆さんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は、「川越スカラ座」

川越の市役所近くの路地裏にひっそりとたたずむ、現役で川越最古の映画館が「川越スカラ座」（川越市元町 1-1-1）です。明治 38 年（1905 年）に寄席としてスタートし、映画館として今の姿に変わったのが昭和 15 年（1940 年）、そして昭和 38 年（1963 年）に「川越スカラ座」の名に変わり、今も時を刻み続けています。平成 19 年（2007 年）に一度閉館となったものの、

川越スカラ座を存続させたいという有志の方々によって NPO 法人プレイグラウンドが経営を譲り受け、賛助会員を募って資金協力を得ながら今日運営しています。

川越スカラ座では、映画監督による舞台挨拶やトークショーなどのイベントも企画されています。小さな映画館だからこそ、映画の作り手と観客との一体感も楽しめるのが川越スカラ座の特長でもあります。

川越スカラ座の歴史を振り返れば、明治から市民の娯楽の場として愛され、昭和そして平成と数々の名作を観に多くの市民が足を運び、令和となったこれからも、変わらぬ場所「川越スカラ座」は多くの方々を楽しませてくれることでしょう。まさに文化が宿る「川越スカラ座」は川越の宝ですね。

（飯島希）

川越スカラ座（http://k-scalaza.com）

川越スカラ座

川越スカラ座でのトークショーの様子

川越スカラ座周辺の川越の「宝」マップ（国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載

◆かわごえ環境ネット会員募集　会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報を毎月郵送とメールでお送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。仲間も作れます。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト（https://kawagoekankyo.net）へ。

【報告】かわごえ環境ネットの活動

湧水めぐりフィールドワーク

自然環境部会

以前、と言ってももう 10 年以上前ですが、自然環境部会は、湧水に関してはとても熱心に取り組んでいました。前自然部会代表の大辻氏は口を開くと「湧水…」と言っていました。湧水が流れ込む河川、水路での魚類調査はかなり回数を重ねています。川越市資源化センター近くの番田堀水路、名細の八幡神社からの湧水路などではクロメダカ、シマドジョウなどが毎回採捕されていました。その他市内の湧水が湧く場所は随分訪れましたし、近郊の湧水池にもバスで訪問したりしました。

しかし、川越のような都市では年々樹林地は減少し、開発が続いていますので、湧水も先細りです。今回は数年ぶりに、いまでも湧水が湧いているところを 3 か所フィールドワークしてみました。

池の全景　一番手前から湧出している

湧き出しているところを見る

ケヤキのそばに祠がある

龍池弁財天

2019 年 12 月 17 日（火)、朝から小雨がありましたが、11 名の参加者で実施しました。最初は小仙波の龍池弁財天。ここは喜多院の所有地ですが、自治会の方も管理されている様子。気温は 6℃度、湧水池の温度は 17℃、COD は 2mg/L でした。池の方が温かいので、湯気のように水蒸気が上がっています。

湧出量もかなりで市の環境対策課の調査では 290～1300m^3/日となっています。季節によりずいぶん量が変化します。また、池にはカワモズク（絶滅危惧 I 類（CE））がわずかに生息しています。以前、コイが放たれていて、だいぶえさになってしまったようです。ここは武蔵野台地の崖線にあたり、地形的に湧水が出やすいのですが、周辺がすっかり住宅に囲まれていますので、今後はどうなるのでしょうか。

仙波の滝　地下水が誘導されている

河岸場をめぐるデッキ

ハンノキを見る

仙波河岸史跡公園

次は仙波河岸史跡公園です。昔はすいぶん湧水が多く、崖上の愛宕神社から滝のように落ちていたというので「滝の下」という地名が残っているほどです。しかし、今は全く崖線からの湧水はなく､形だけ落下する口が作られていて、井戸水が導入されています。

新河岸川舟運の最終船着き場として仙波河岸があるということで、ここが公園として整備されたのが 2004 年です。湿地性の植物のミクリ（準絶滅危惧種)、タコノアシ（絶滅危惧 II 類）があったのですが､最近は確認されていません。樹木としてはハンノキがあり、ミドリシジミの

食草ですので、10 年以上前に何度か自然環境部会で調査しましたが、見つけることはできませんでした。昭和 40 年代には、ここにはミドリシジミもホタルもいたそうです。

ここで雨も上がり、気温は 8℃、水温は 16℃、COD は 9mg/L と水質は非常によくないです。池にコイがたくさん放たれていて、えさを投げる人もいますので、水は汚れる一方です。湧水も湧いていますが、効果は打ち消されています。

日枝神社入口付近

湧水が出ている

カモ類が群れている

湧水の流れを追う

河畔林を望む

新河岸日枝神社

次は、新河岸日枝神社に向かいます。旭橋のたもとに舟運河岸場跡があり、船問屋であった「伊勢安」さんのどっしりした建物も風情があります。湧水は、日枝神社が新河岸川の河畔に接する斜面から湧き出ています。大きなムクノキの根元から出ています。ここで気温は 8℃、水温は 17℃、COD は 3ppm でした。

新河岸川の川辺に出ると、いたるところから湧水が出ていて、河畔はビショビショとしています。河畔からの眺めはまさに里山、里川の風景です。湧水が流れ込んでいるので水鳥がたくさん集まっています。河岸も土羽で菜の花などが覆い、春には美しい景観でしょう。

（賀登環）

新年会

1 月 15 日（水）12:30-14:00 に新河岸川高澤橋のたもとにある中正屋において新年会を開催しました。玄関は町家ですが奥に蔵があり、貸し切りで落ち着いた雰囲気で、7 名で昼食を楽しみました。

かわごえ環境ネットでは、定期的に交流行事を開催し、会員同士の懇親を深める機会を設けています。気軽にご参加ください。（小瀬博之）

蔵の中での新年会

【報告】会員の活動

継承したい日本の田んぼ文化 2 編

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブでは、継承したい日本の田んぼ文化として、12 月 22 日（日）に「まこもでお正月かざりづくり」、正月明けの 1 月 11 日（日）に「マコモでドンド焼き」を行いました。

まこもでお正月かざりづくり

「まこもでお正月かざりづくり」は千年の歴史ある川越八幡宮で総勢 30 名の参加者を得て開催しました。神主様から川越八幡宮や正月飾りの由来などのお話しから始まり、マコモ栽培人の谷道会員の指導の下、皆、神社の厳かな雰囲気の中で正月飾りを作り、本物の伝統文化を学ぶことができました。

マコモでドンド焼き

「マコモでドンド焼き」では、地元の参加者や遠く富士山のふもとから参加されたご家族もあり、35 名の参加者でにぎわいました。

マコモの枯葉集め作業から始まり、焚火で焼き芋や本格的な繭玉作りという豊作祈願の伝統的なドンド焼きを経験することができました。今では、神社でもめったに見られない光景で、繭玉づくりにいたっては、会員や地元の協力で上新粉から釜ゆでして繭玉を作り、子供たちが枝に飾るという珍しい体験をして、いい思い出作りができたことと思います。このような伝統文化は、昔から地域コミュニティを作り上げてきた古き良き文化だったのでしょう。

今回行った継承したい日本の田んぼ文化の催しで、田んぼが米作りだけではない多面的な役割を担い、田んぼが持つ自然環境の大切さなどの意識につながっていけばと思います。

（増田純一）

神主様からのお話を聴く参加者

思い思いの正月飾りを作りました

繭玉飾りをする子どもたち

冬は倒木・枯損木の伐採、チップ化

小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）

参加者の集合写真。2 名が初参加

根元から倒れていたアカメガシワ

あっという間に片付きました

樹木の伐倒方法について解説

ロープで木を倒す方向を制御

成虫で越冬するクビキリギスを発見

東洋大学川越キャンパス内の広大な森林「こもれびの森」を多様な生物が生きる里山の森に

する「東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊」では、毎月 1 回程度活動日を設けて、生育阻害木や枯損木の伐倒、下刈りなどの里山林保全活動を行っています。

1 月 11 日（土）8 時 30 分から 16 時 00 分に行われた里山林保全活動は、暖冬のためか、比較的穏やかな天気の中、14 名の参加により行われました。

野球場北側の敷地でまず見つかったのは、アカメガシワの倒木で、根から倒れていた木を撤去しました。また、林内の枯損木の伐倒やかかり枝の処理を行いました。

林縁部では、ウッドチッパーを用いて伐採枝を粉砕し、野球場とこもれびの森の間にある通路にチップを敷設しました。最初にこのエリアの保全を始めてから 4 年が経過し、当時の伐採枝はかなり分解されていて、思ったほどの量はありませんでしたが、かなりの量を敷設して、地表部分の大半を覆うことができました。

（小瀬博之）

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

1 月 15 日（水）9:00-10:00 に第 10 回事業運営委員会を、10:00-12:05 に第 10 回理事会を福田ビル 3 階会議室において開催しました。一括して主要な議事内容を報告します。

（1）歳末まち美化活動（12/22）

カンパの会計報告がありました。

（2）第 18 回かわごえ環境フォーラム（2/29）

かわごえ環境フォーラムのちらしを 2,000 部印刷することを決定し、会員には本紙 2 月号とともに郵送することにしました。関係方面への配布も行います。また、当日のタイムスケジュール、キャスティング、必要物品等について調整しました。具体的なプログラムについては本紙の「おしらせ」またはちらしをご覧ください。

環境活動報告集に掲載されている「アピール」は、2021 年の次回に見直すことにしました。

行事終了後の懇親会について、会場を予約したことを確認しました。

（3）役員の改選・総会

2020 年度に行われる役員改選のスケジュールを確認しました。理事立候補用紙を 3 月の郵送資料に同封することにしました。

2020 年度総会の候補日を選定しました。

（4）設立 20 周年記念事業

1 月 22 日（月）に第 7 回出版専門委員会を開催すること、1 月 29 日（水）に自然環境部会の事業として川越市の地質フィールドワークを実施することが報告されました。

設立 20 周年記念事業のロゴマークを検討すること、また、基本的に行事はすべて冠行事とすることを基本として検討することにしました。

（5）その他

「春の里山クリーン活動＆自然観察」を 5 月 10 日（日）に実施することを承認しました。

個人 1 名、事業者 1 名が入会し、1 月 15 日現在の会員数は、個人 140、民間団体 25、事業者 26、行政 1 の合計 192 となりました。

（小瀬博之）

社会環境部会

2020 年の新年の社会環境部会例会は、1 月 10 日（金）に 10 人が参加、福田ビル 3 階で行われました。理事会、事業運営委員会の報告の後、12 月 14 日に行われた「第 1 回 SDGs エコフォーラム in 埼玉」参加者からの感想で活発な発言が続きました。基調講演の仏教と SDGs のつながりはありそうだが、難しい仏教用語にとらわれて理解が不十分だったとの感想がありました。

2019 年度少年少女国連大使に選出された中学 3 年生の川越の島村さんの発表に感銘を受けた等の感想が出されました。1 月号に小瀬理事長の詳細な報告が掲載されていますが、県内各地から多くの参加を得た、第 1 回 SDGs エコフォーラム in 埼玉の成功に、今後の一層の発展を期待しました。

次いで、歳末クリーン活動についての感想が出ました。市立高校生の参加が続いていますが、他の市内高校生への呼びかけもどうか、街中の見方を見直す「ゆっくり歩きながらのごみ拾い」などの新しい提案がありました。

次いで、来月からのコラム、2 月 1 日の埼玉県主催の「川の再生交流会」への参加と分科会の分担等を協議し、参加者の調整をしました。さらに、4 月以降の社会環境部会の活動計画等のまとめの方法で討議しました。

新河岸川の再生の意見交換に際し、神奈川県の「三浦半島・小網代の谷から」の画期的な自然再生の経過をまとめた本を持参した会員の発言をもとに、行政の縦割り、みどりの基金、ユニバーサルデザインなど、活発な意見交換で盛り上がりました。

2 月 14 日の例会でさらに深めることにして散会しました。

（社会環境部会代表　武田侃蔵）

自然環境部会

1 月例会は 1 月 10 日（金）福田ビル 3 階にて 8 名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動
12 月は一回だけの活動で「野鳥の森」の手入れをして新年を迎えました。このエリアはこの後、環境政策課が業者に依頼して倒木・枯損木など片付く予定。

②池辺公園定例活動　1 月 7 日（火）　10 名参加　ウバユリのエリア手刈り、試みにウバユリの地下茎を見てみるが、親指ほどの小さな鱗茎で、夏に大きな花を付けるには物足りない印象。日照を妨げるシラカシの除伐（5 本）。

③湧水巡りフィールドワーク　12 月 17 日（火）
11 名参加　本紙 4〜5 ページの報告参照

2. 協議事項

①かわごえ環境フォーラムへの取り組みについて

②かわごえ生き物調査の展開について　調査員から寄せられた 2 年分のデータの共有ができたので植物、野鳥、昆虫、その他の動物で分担して整理した（およそ 5,000 件）。その結果、メッシュコードの分布図で水鳥などは川沿い、在来希少種などは樹林地と、生態に応じた分布が得られた。かわごえフォーラムの自然環境部会の報告で詳しくお伝えする。次年度はさらに調査種、地域を検討することになった。

③会計担当から上半期の報告と今後の使用について

（自然環境部会代表　賀登環）

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック】第 18 回かわごえ環境フォーラム（2 月 29 日土曜日、ウェスタ川越で開催）

【実施概要】

日時：2 月 29 日（土）9:30-16:30
場所：ウェスタ川越　市民活動・生涯学習施設（2 階）会議室 1・2（川越市新宿町 1-17-17、川越駅西口より徒歩 5 分、定員 100 名）
主催：かわごえ環境ネット
後援：川越市
協賛：パイオニア株式会社　武州ガス株式会社　株式会社環境総合研究所　初雁興業株式会社　初野建材工業株式会社
＊川越市エコチャレンジイベント認定

【プログラム】

9:10-　受付

9:30-12:00　①みんなの環境活動報告会

（当日参加可・入退場自由）

9:30-9:40 開会

（司会：菊地三生　かわごえ環境ネット 理事）

9:40-12:00 環境活動報告（10 件）

1	ふくはら子どもエコクラブ：雑木林の手入れや農業を体験して、地元の自然を思いやるエコ活動に取り組んで
2	高階北子どもエコクラブ：子どもの目線で自分の住む街を歩き観察し、活動とのつながりを探し実践する
3	過昌司：市民参加の自然観察の取組み–川越のチョウ 10 年–
4	大久保彦：2019 年 市民の森キノコ（第 5 回）「川越周辺のきのこ」
5	渡辺利衛・菊地三生：クリーン活動について
6	賀登勉（小畔川の自然を考える会）：小畔川を楽しむ – 魚類調査と川遊び
7	谷道輝夫・藤岡重歳（NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ）：「生きもの育む田んぼプロジェクト 2019」活動報告～稲作・マコモ文化の継承と、人々が結びつく豊かな地域つくりを目指して～
8	小瀬博之（東洋大学）：「こもれびの森・里山支援隊」5 年間の活動
9	武田侃蔵（かわごえ環境ネット）：社会環境部会を中心とした活動
10	賀登環（かわごえ環境ネット）：自然環境部会を中心とした活動

12:00　閉会・休憩

12:40-　受付

13:00-14:25　②講演会

（事前申込受付・空席があれば当日参加可）

13:00-13:10 開会

（司会：飯島希　かわごえ環境ネット 理事）

13:10-14:25　講演

「動きながら考え、考えながら調整する～ぼくらのエリアリノベーション～」

講師：荒木牧人さん（株式会社 80% 代表取締役／maao 代表／三輪駄菓子屋すいすい オジサン）

荒木牧人さん

すずのや

荒木牧人さんプロフィール：1974 年埼玉県上福岡（現：ふじみ野）市生まれ。建設会社、設計事務所勤務を経て、2013 年荒木牧人建築設計事務所(現：maao)を設立。同時期に住んでいる地域の自治会長になり、そこでの経験を活かし「空き家問題を解決せよ！」というテーマにひかれ、第 3 回リノベーションアイデアコンペに応募し優秀作品賞を受賞。その後、リノベーションスクール・プロフェッショナルコース（現：プロフェッショナル・リノベーションスクール）で半年間の体系的学びを終え、地元で実践開始。2016 年 11 月に行われた川越市主催「第 1 回まちづくりキャンプ」に参加後、異業種仲間 3 名と株式会社 80%を設立。川越市連雀町にある木造 2 階建の空き長屋に、2017 年 6 月に第 1 号案件「すずのや」「glin coffee 大工町店」、2018 年 2 月に第 2 号案件「coworking & shareoffice ダイクマチ」を DIY 中心に施工。自らの設計事務所も第 2 号案件に移設。地域軸での新しい動きを作る。2019 年 2 月、中心市街地活性化協議会と「第 1 回川越空き店舗ツアー」を共同開催。参加者から新たな実践者が誕生するきっかけを作るなど、地道に川越市街地と郊外、近隣市で様々なエリア・リノベーションを展開中。2019 年 12 月には直営第 3 号案件「coworking & shareoffice ロッケンマチ」が完成。また、自身の住んでいる郊外エリア（南古谷）では週 1 回、牛子小学校区内を三輪自転車で販売する「駄菓子屋すいすい」のオジサンとしても活動中。

14:25-14:40 休憩・受付

14:40-16:30　③マップづくりワークショップ

「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう 2」

（事前申込受付・空席があれば当日参加可）

進行：飯島希　（かわごえ環境ネット 理事）

前回のワークショップの様子

2019 年 3 月に開催された「第 17 回かわごえ環境フォーラム」において、「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう」ワークショップを開催しました。テーブルを囲みながら参加者同士で川越の「宝」だと思うスポットを掘りおこ

すことができました。今回のワークショップではさらに「宝」を抽出しつつ、それらをどうやって活用できるか、周辺の「宝」との関係を見ながらストーリーを作り上げたいと思います。

16:30　　閉会

問い合わせ・申し込み先

かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課 環境推進担当）

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

プログラムは変更することがあります。最新情報は、かわごえ環境フォーラムホームページをご覧ください。

かわごえ環境フォーラム（https://forum.kawagoekankyo.net）

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時： 2 月 10・24 日、3 月 9・23 日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日、変更の場合もあります）

日時： 2 月 4 日、3 月 3 日、4 月 14 日、5 月 12 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

問い合わせ・申し込み：賀登（Tel.049-234-9366）

★生き物調査勉強会

日時： 2 月 5 日（水）13:00-15:30

場所：南公民館和室（川越市新宿町 1-17-17 ウェスタ川越内）

講師：牧野彰吾氏

★川越市の総合計画等勉強会

日時： 2 月 19 日（水）13:30-15:30

場所：南公民館和室

講師：橋本光司氏（川越市環境政策課）

会合

◆広報委員会（2020 年 2 月度）

日時：2 月 5 日（水）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎 5 階フリースペース

＊次回は 3 月 4 日（水）9:00-10:00 同所

●社会環境部会（2020 年 2 月度）

日時：2 月 14 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 3 月 13 日（金）13:00-15:00 同所

＊会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2020 年 2 月度）

日時：2 月 14 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 3 月 13 日（金）15:00-17:00 同所

＊会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2019 年度第 11 回）

日時：2 月 19 日（水）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎 7E 会議室

＊次回は 3 月 18 日（水）9:00-10:00 福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

◆理事会（2019 年度第 11 回）

日時：2 月 19 日（水）10:00-12:00

場所：川越市役所本庁舎 7E 会議室

＊次回は 3 月 18 日（水）10:00-12:00 福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

◆設立 20 周年記念事業実行委員会出版専門委員会（第 8 回）

日時：2 月 26 日（水）13:00-15:00

場所：栗原造園（川越市南大塚 4-5-3）

＊次回は 3 月 25 日（水）13:00-15:00 同所

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：①2 月 8 日（土）9:30-12:30 ごろ
　　②3 月 14 日（土）9:30-12:30 ごろ
場所：明見院（今福 677）近く
内容：農作業（B 級品のお土産付き）
会費：クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

予定表

月	日	活動内容予定
2	8	雑木林の手入れ 焼き芋等
3	14	雑木林の手入れ、あそぼうパン
4	11	畑の片付け
5	9	枝豆畑の片付け

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域コミュニティ作りを行っています。入会は随時受け付けております。(hatsukarinosato@googlegroups.com)

◎第 2 回 田んぼ IoT セミナー

日時：2 月 16 日（日）13:00（受付開始）-17:00
場所：川越駅東口多目的ホール（クラッセ川越 6 階、川越市菅原町 23-10）
参加費：1,000 円
申込：お名前、メールアドレス、電話を記載して hatsukarinosato@googlegroups.com にお申し込みください。

昨年に引き続き開催。「田んぼを見守る田んぼカメラ～4 年目の挑戦～（仮題）」講師　林伸夫氏と「里山のロボット 2～高精度 GPS 制御 ROBOT～」講師　猪鼻治行氏の 2 つの講演。

◎第 1 回 郷土料理と里山文化を学ぶ「蒸す」

日時：3 月 5 日（木）10:30（10:00 受付開始）-14:00
場所：川越市北部地域ふれあいセンター調理室（川越市山田 1578-1）
講師：西郷恵美子さん（定食屋「福幸」経営）
メニュー：あんこ炊き、おまんじゅう、蒸しおこわ作り
定員：20 名
会費：かわごえ里山イニシアチブ会員・地元の方：1,000 円／非会員 1,500 円（未就学児連れの参加も可能。託児はありません。）
持ち物：エプロン、手を拭くタオル、筆記用具
申込：参加者全員の氏名・年代を記載して hatsukarinosato@googlegroups.com にお申し込みください（申込期限 2 月 26 日（木））

埼玉県の郷土料理や身体にやさしいおやつを地元のお母さん方に教わります。第 1 回は、加熱料理の中でも加水をする「蒸す」を学び会です。以前は、都内で自然派レストランを経営し、自家栽培の野菜や自家製のお味噌を使い、現在、川越市福田で定食屋「福幸（ふくよし）」を営むおかあさんから、子どもさんが喜ぶ安心・安全なおやつや作りや郷土料理のコツを教えてもらいます。

◎生きもの育む田んぼプロジェクト 2020 説明会

日時：3 月 15 日（日）9:30-12:00
場所：川越市南公民館講座室 5 号（川越市新宿町 1-17-17 ウェスタ川越内）

無農薬によるお米作りやマコモ栽培に興味のある方、マコモ葉や無農薬米がほしい方、活動に興味のある方はご参加ください。2020 年度は、特にお米栽培チーム、マコモ栽培チームを作り、栽培方法を学びます。

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）
こもれびの森・里山支援隊 http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

◎里山林保全活動（初回参加可）

日時:①3 月 7 日（土）8:30 集合-16:00 作業終了・②4 月 18 日（土）8:30 集合-12:30 作業終了予定（4 月は活動終了後、構成員による総会を開催）

対象：本学専任教職員・学生、市民等（高校生以上）

場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」（川越市鯨井 2100）

作業内容：枯損木の伐倒、下刈り、つる切り、伐採枝のチップ化、希少植物の保護、スズメバチトラップの設置、ごみ拾いなど

定員：15 名

費用：無料

持ち物：森林内の作業に適した身支度（詳しくは Web で）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、参加を希望する行事名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をおしらせください。

＊Web サイト（組織概要・開催案内・開催報告）
https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

＊Facebook ページ（最新の活動報告）
https://www.facebook.com/komorebisatoyama

＊Twitter（中止連絡などの緊急告知）
https://twitter.com/toyokomorebi

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

予定表

月	日	活動内容予定
3	7	8:30-16:00,里山林保全活動
4	18	8:30-13:00,里山林保全活動、終了後総会
5	17	8:30-16:00,里山林保全活動（日時は予定）

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日

日時:2 月 4 日（火）・21 日（金）、3 月 3 日（火）・20 日（金・祝）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：2 月 9 日・3 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日

日時：2 月 22 日・3 月 28 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①2 月 23 日（日）新河岸川中流、杉下橋たもと 9:00 集合。河道工事後を検証しながら両岸のごみ拾い。新琵琶橋まで。オアシス横で分別回収。11:00 解散予定。

②3 月 22 日（日）新河岸川下流、旭橋右岸に 9:00 集合。上下流各コースに分かれて活動。旭橋左岸の空き地で分別収集。11:00 解散

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン

日時：2 月 20 日（木）13:30-15:30

会場：高階南公民館 1 階会議室 1 号（川越市藤原町 23-7）

参加費：無料

持ち物：25cm 四方の布またはハンカチ、裁縫道具

電気代や水道料金の節約についての話をしています。直近 2～3 か月分の電気・ガス・水道の料金票がありましたら、お持ちください。

希望者はマイ箸袋を作成します。まず身近なことからということでマイ箸利用をおすすめしています。森林破壊を止めるためにもマイ箸を持参するための箸袋を作っています。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、雨天中止）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

①2 月 9 日（日）10:00-12:00

全面氷結した沼でカモたちはどんな生活をしているでしょうか。葉の落ちた公園でツグミ、シメ、コゲラなど小鳥を観察します。

②3 月 8 日（日）10:00-12:00

冬鳥とも今月でお別れです。渡りの途中の鳥がちょっとお休みしていきます。珍しい鳥に会えるカモ。

広報委員会からのおしらせ

★かわごえ環境ネット会員募集

会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報を毎月郵送とメールでお送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。仲間も作れます。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト（https://kawagoekankyo.net）へ。

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2020 年 3 月号（No.161，3 月 3 日発行予定）の掲載原稿は、2 月 15 日（土）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

★かわごえ環境ネットインターネットメディア

Web サイトは本紙のカラーPDF 版を掲載しています。SNS はフォローをお願いします。

Web サイト　Twitter　Facebook

〇おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（2 月 3 日～4 月 1 日）

日	月	火	水	木	金	土
	2/3	2/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/5 ◆9:00 広報委員会 ★13:00 生き物調査勉強会	2/6	2/7	2/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	2/10 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	2/11 建国記念の日	2/12	2/13 ◎越辺川や高麗川などの川めぐり	2/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2/15 〇本紙 3 月号投稿期限
2/16 ◎13:00 田んぼ IoT セミナー	2/17	2/18	2/19 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会 ★13:30 川越市の総合計画等勉強会	2/20 ◎13:30 かんきょうサロン	2/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/22 ◎13:30 まち美化啓発運動
2/23 天皇誕生日 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	2/24 振替休日 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	2/25	2/26 ◆13:00 設立 20 周年記念出版委員会	2/27	2/28	2/29 ★10:00 かわごえ環境フォーラム 環境活動報告会 ★13:00 同講演会 ★14:40 同ワークショップ
3/1	3/2	3/3 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/4 ◆9:00 広報委員会	3/5 ◎10:30 郷土料理と里山文化を学ぶ「蒸す」	3/6	3/7 ◎8:30 里山林保全活動（こもれび隊）
3/8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	3/9 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	3/10	3/11	3/12	3/13 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	3/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
3/15 〇本紙 4 月号投稿期限 ◎9:30 生きもの育む田んぼプロジェクト 2020 説明会	3/16	3/17	3/18 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会	3/19	3/20 春分の日 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/21
3/22 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	3/23 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	3/24	3/25 ◆13:00 設立 20 周年記念出版委員会	3/26	3/27	3/28 ◎13:30 まち美化啓発運動
3/29	3/30	3/31	4/1	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

発行日　2020 年 2 月 3 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　https://kawagoekankyo.net/